

令和5年度愛媛県商店街実態調査結果報告書

令和6年1月
愛媛県経営支援課

◇ 調査の概要	2
◇ 調査結果	4
1 商店街の状況	4
1) 所在地	4
2) 商店街の属性	4
3) 地域別商店街タイプ	5
4) 業種別営業店舗数	5
5) 空き店舗率	6
2 共同活動実施状況	9
1) 現在実施しているもの	9
2) 今後新たに実施したいもの	10
3) 今後実施したい活動における問題点	10
3 空き店舗の発生原因	11
4 今後必要となる資源や能力	11
5 商店街における問題点	12
6 新型コロナウイルス感染症の 5類移行後の変化	12
7 R4年度以降の補助金制度等の活用状況	13
8 R4年度以降補助金を 活用しなかった(しない)理由	13
9 商店街の今後の見通し	13
10 商店街の施設、設備、備品等の 今後の取扱い	14
11 R4年度以降の新たな取組み	14
◇ 過去の調査結果との比較	15
◇ 調査票	16

◆調査の概要

1 目的

新型コロナウイルス感染症の5類移行により、本県経済は回復に向かいつつあるものの、本県の商店街では、消費の伸び悩みや郊外型大型店等との競合、電子商取引等の伸長などにより来街者が減少し、にぎわいが失われつつあり、商業機能はもとより、期待されている地域コミュニティの場としての機能も十分に発揮できていない状況にある。

本調査は、こうした状況を踏まえて、全県で統一的な内容で商店街の実態や課題等を把握し、県、市町及び商店街支援団体の商店街振興施策の立案等の基礎資料とすることを目的とする。

2 対象

県内市町に所在する商店街（振興組合、協同組合、任意団体等）113

（※組織化していないものも含む。）

3 調査内容

業種別構成、空き店舗率、共同活動実施状況、空き店舗の発生原因、今後必要となる資源や能力、商店街における問題点、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の変化、R4年度以降の補助金制度等の活用状況、R4年度以降補助金を活用しなかった（しない）理由、商店街の今後の見通し、商店街の施設、設備、備品等の今後の取扱い、R4年度以降の新たな取組み

4 調査時点

令和5年4月1日現在

5 調査方法

関係市町を通じ、調査票を各商店街に配布し、関係市町がとりまとめて経営支援課へ回答（郵送、FAX、メール）

6 調査期間

令和5年7～9月

7 有効回答数

1) 商店街の状況	2) 共同活動実施状況	3) 空き店舗の発生原因
回答数 113	回答数 97	回答数 108
回収率 100%	回収率 85.8%	回収率 95.6%

4) 今後必要となる資源や能力	5) 商店街における問題点
回答数 107	回答数 113
回収率 94.7%	回収率 100%

6) 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の変化
回答数 113
回収率 100%

7) R4年度以降の補助金制度等の活用状況
回答数 112
回収率 99.1%

8) R4年度以降補助金を活用しなかった（しない）理由
回答数 74
回収率 65.5%

9) 商店街の今後の見通し	10) 商店街の施設、設備、備品等の今後の取扱い
回答数 110	回答数 92
回収率 97.3%	回収率 81.4%

11) R4年度以降の新たな取組み
回答数 107
回収率 94.7%

8 調査結果の概要

- 1) 『商店街の所在地』は、南予地域が39.8%で最も多く、次いで中予地域が31.9%、東予地域が28.3%となっている。
- 2) 『商店街の属性』は、商店街のタイプでは「近隣型」が57.5%で最も多く、次いで「地域型」が37.2%、「広域型」が5.3%となっている。
一方、組織のタイプでは、「任意団体」が58.4%で最も多く、次いで「振興組合」が22.1%、「組織なし」が16.8%、「協同組合」が2.7%となっている。
- 3) 『商店街の空き店舗率』は全体で24.7%となり、前回（令和3年度）調査結果と比較して2.0ポイント上昇した。地域別では前回と同じく東予が最も多く、37.7%であった。
- 4) 『商店街において実施している共同活動』は、「祭り・集客イベント」が最も多く（44.3%）、次いで「夜市・朝市・産直市等」、「共同チラシ・ポスター」の順であった。
- 5) 『商店街において今後新たに実施したい共同活動』は、「特になし」（54.6%）以外では、「他の商店街との連携」が最も多く（15.5%）、次いで「インターネット情報発信」、「研究会・講習会（先進地視察）」という順であった。
- 6) 『商店街において今後実施したい共同活動の問題点』は、「足並みが揃わない」が最も多く（54.1%）、次いで「自己資金不足」、「人手不足」という順であった。
- 7) 『商店街において空き店舗が発生している原因』は、「店舗の老朽化」が最も多く（62.0%）、次いで「所有者に貸す意思がない」、「その他」という順であった。
- 8) 『商店街において今後必要となる資源や能力』は、「活動の中核となる人材」が最も多く（71.0%）、次いで「後継者育成」、「企画力・アイデア」という順であった。
- 9) 『商店街における問題点』は、「経営者の高齢化による後継者問題」が最も多く（81.4%）、次いで「店舗等の老朽化」、「商圈人口の減少」という順であった。
- 10) 『商店街における新型コロナウイルス感染症の5類移行後の変化』は、「来街者の増加」が最も多く（38.9%）、次いで「影響なし」、「来街者の減少」という順であった。
- 11) 『R4年度以降における補助金制度等の活用状況』は、「活用しなかった（しない）」が多く（67.0%）、「活用した（する）」が少ない（33.0%）結果であった。
- 12) 『R4年度以降補助金を活用しなかった（しない）理由』は、「補助要件のハードルが高い」が最も多く（59.5%）、次いで「手続き等に手間や人的資源がかかる」、「補助金制度の存在を知らない」という順であった。
- 13) 『商店街の今後の見通し』は、「今後も商店街を維持していく見込み」が最も多く（40.0%）、次いで「商店街の存続に不安がある」、「未定」という順であった。
- 14) 『商店街の有する施設、設備、備品等の今後の取扱い』は、「未定」が最も多く（71.7%）、次いで「計画を立てている（検討中）」、「その他」という順であった。
- 15) 『商店街におけるR4年度以降の新たな取組み』は、「特になし」（58.9%）以外では、「感染症対策を講じたイベントの実施」が最も多く（20.6%）、次いで、「感染症対策の実施、啓発」、「キャッシュレス化」という順であった。

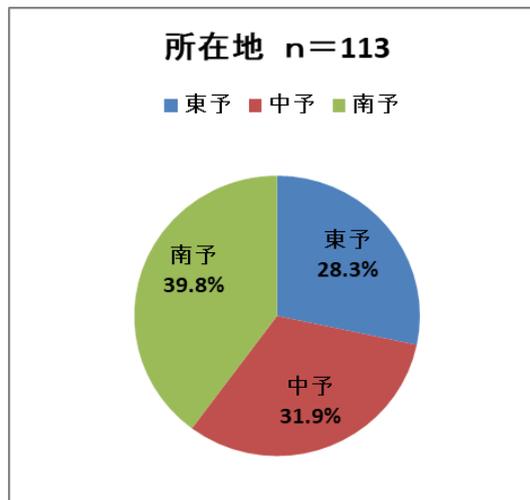
◆調査結果

1 商店街の状況

1) 所在地

商店街の所在は、南予地域、中予地域、東予地域の順となっている。

所在地	数	率
東予	32	28.3%
中予	36	31.9%
南予	45	39.8%
計	113	100.0%



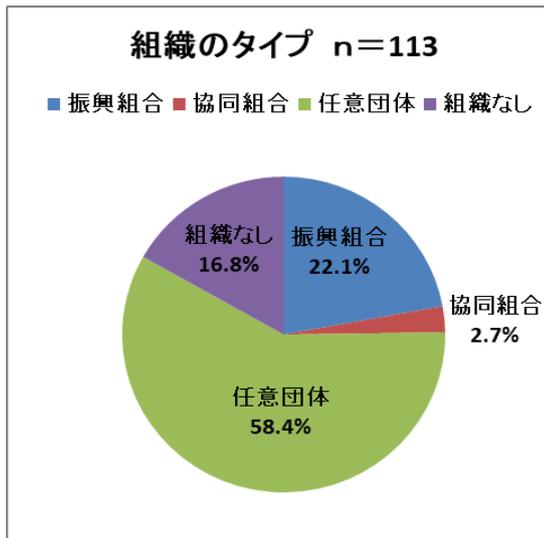
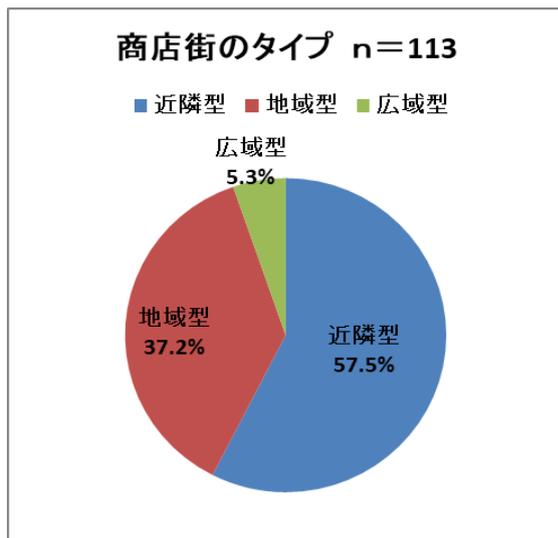
2) 商店街の属性

商店街のタイプは、「近隣型」が57.5%で一番多く、次いで「地域型」37.2%、「広域型」5.3%の順である。

商店街の組織のタイプは、「任意団体」が58.4%で一番多く、次いで「振興組合」22.1%、「組織なし」16.8%、「協同組合」2.7%の順である。

商店街のタイプ	数	率
近隣型	65	57.5%
地域型	42	37.2%
広域型	6	5.3%
計	113	100.0%

組織のタイプ	数	率
振興組合	25	22.1%
協同組合	3	2.7%
任意団体	66	58.4%
組織なし	19	16.8%
計	113	100.0%



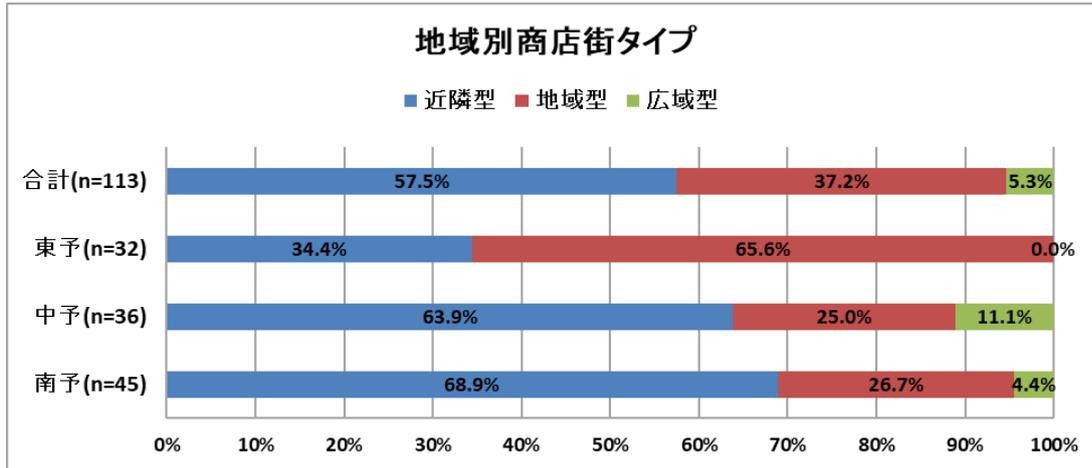
- ・近隣型—最寄品中心で地元住民が日用品などを徒歩又は自転車などにより日常の買い物をする商店街
- ・地域型—最寄品店及び買回り品店が混在し、近隣型商店街よりもやや広い範囲から、徒歩、自転車、バス等で来街する商店街
- ・広域型—百貨店、量販店等を含む大型店があり、最寄品店よりも買回り品店が多い商店街

※最寄品：消費者が頻繁に手軽にほとんど比較しないで購入する物品。加工食品、家庭雑貨など。

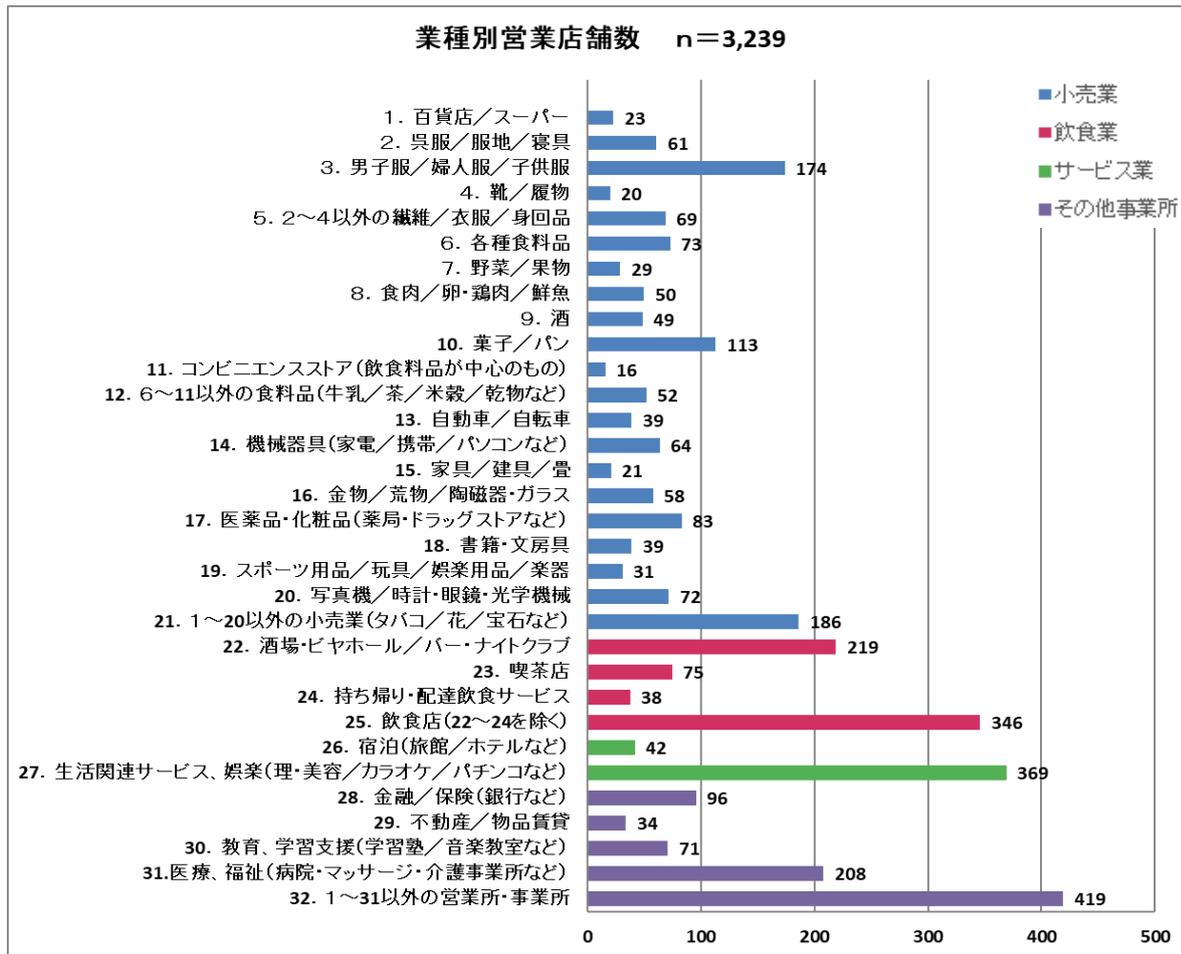
※買回り品：消費者が2つ以上の店を回って比べて購入する商品。ファッション関連、家具、家電など。

3) 地域別商店街タイプ

東予地域は、「地域型」が65.6%と最も多く、「広域型」はない。中予地域及び南予地域は、「近隣型」が一番多く、次いで「地域型」、「広域型」の順となっている。



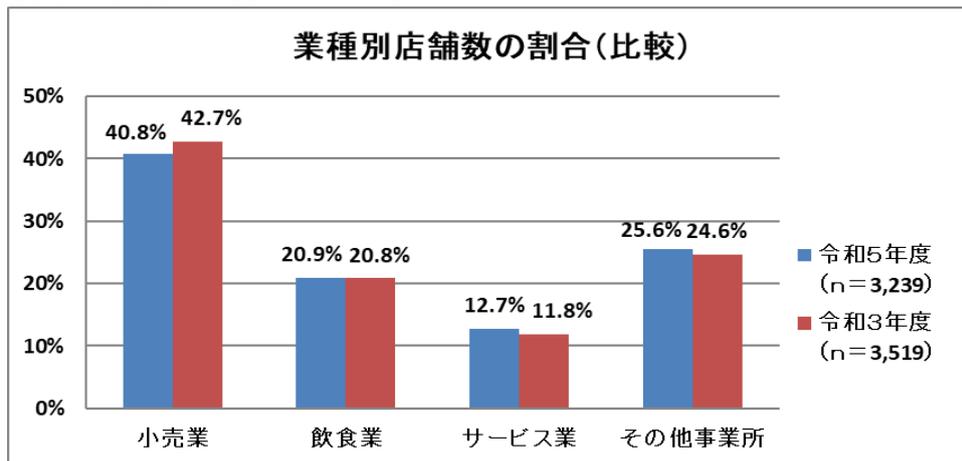
4) 業種別営業店舗数



商店街の業種別構成は、「1~31以外の営業所・事業所」が419店舗で一番多く、次いで「生活関連サービス、娯楽 (理・美容/カラオケ/パチンコなど)」369店舗、「飲食店 (22~24を除く)」346店舗、「酒場・ビヤホール/バー・ナイトクラブ」219店舗、「医療、福祉 (病院・マッサージ・介護事業所など)」208店舗の順となっている。

業種別（小売業・飲食業・サービス業・その他事業所）の割合では、小売業が一番多く全体の40.8%を占めている。

また、前回（令和3年度）調査結果と比較すると、小売業の割合のみが低下し、その他の業種の割合は上昇している。

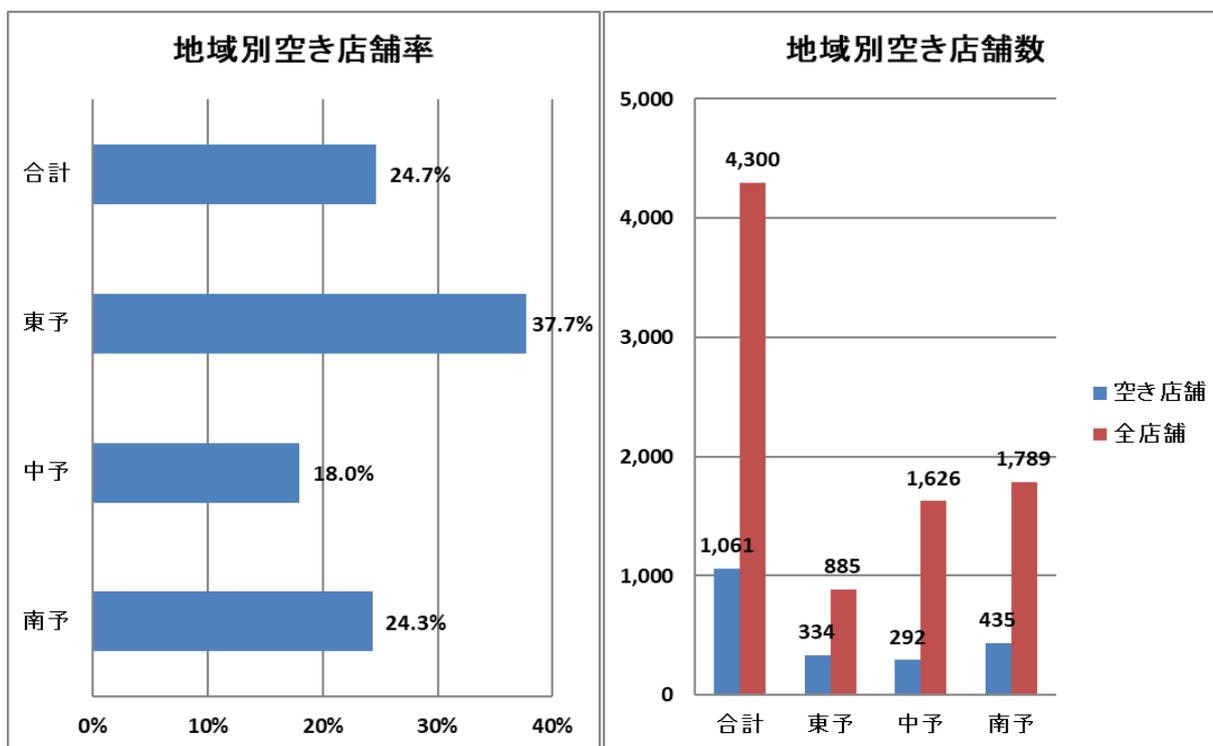


5) 空き店舗率(空き店舗率=空き店舗数÷(営業店舗数+空き店舗数)×100)

空き店舗とは、従前店舗であったものが、現状店舗として使用されていない店舗建物をいい、全体の空き店舗率は24.7%で、前回（令和3年度）調査結果22.7%と比較して2.0ポイント上昇している。

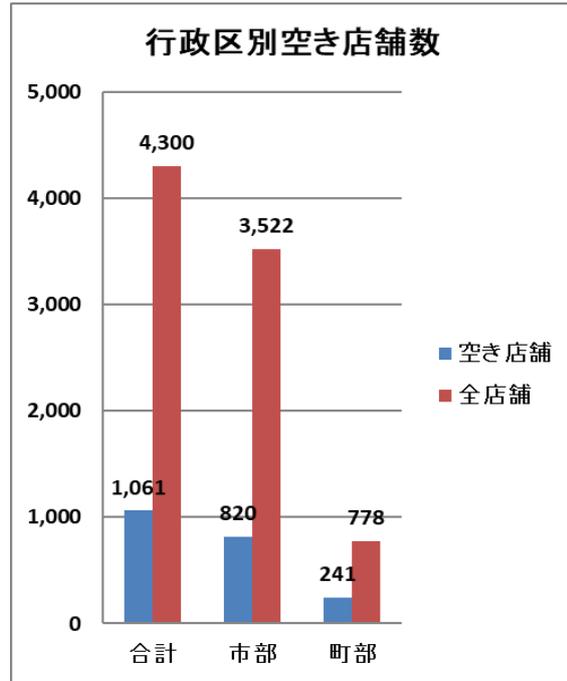
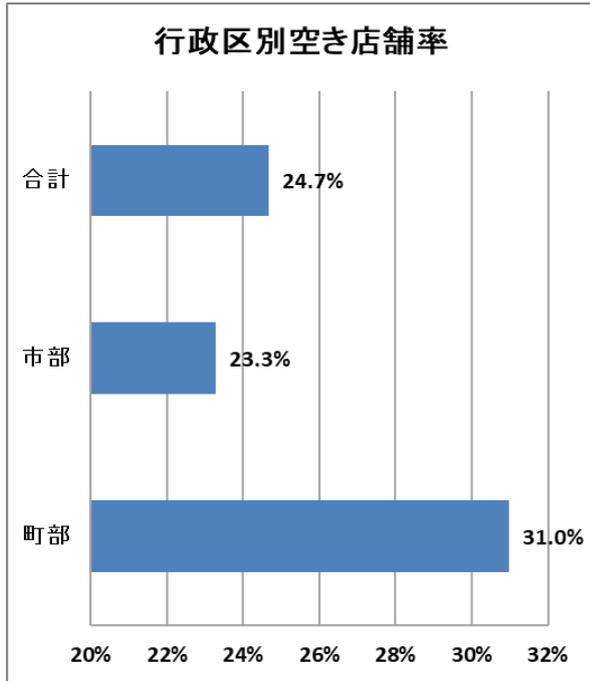
<地域別空き店舗率>

地域別の空き店舗率は、「東予」地域37.7%、「南予」地域24.3%、「中予」地域18.0%であり、東予地域での空き店舗率が高い。



<行政区別空き店舗率>

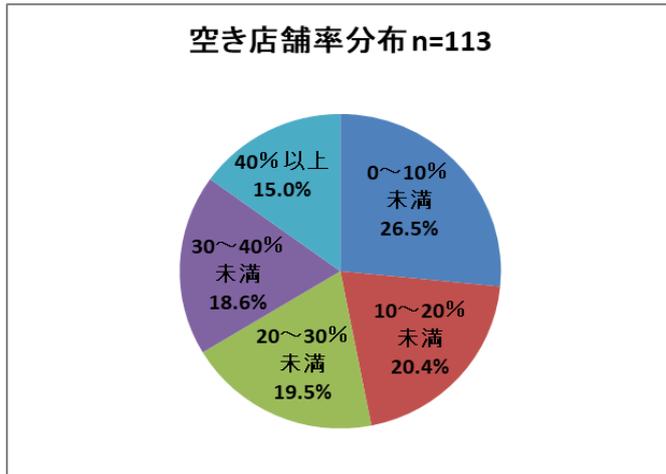
行政区別の空き店舗率は、「市部」で23.3%、「町部」で31.0%であり、「町部」での空き店舗率が高い。前回（令和3年度）調査結果（市部21.1% 町部29.9%）と比較すると、「市部」及び「町部」いずれも空き店舗率が上昇している。



<商店街の空き店舗率分布>

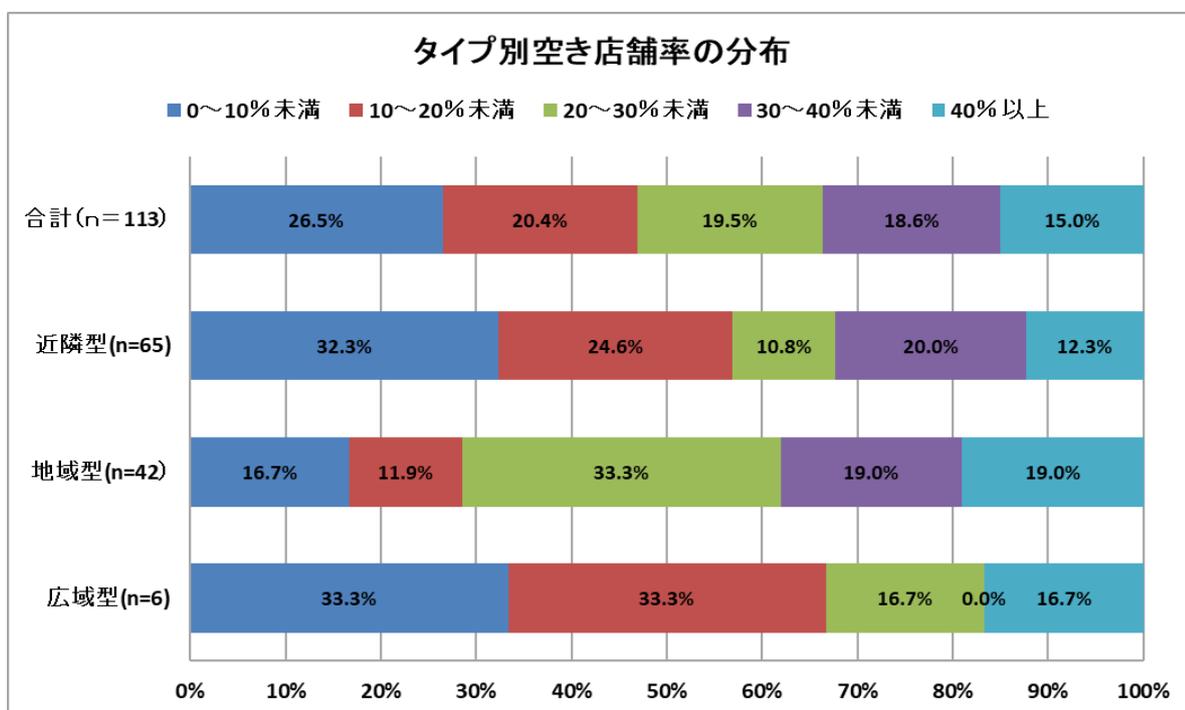
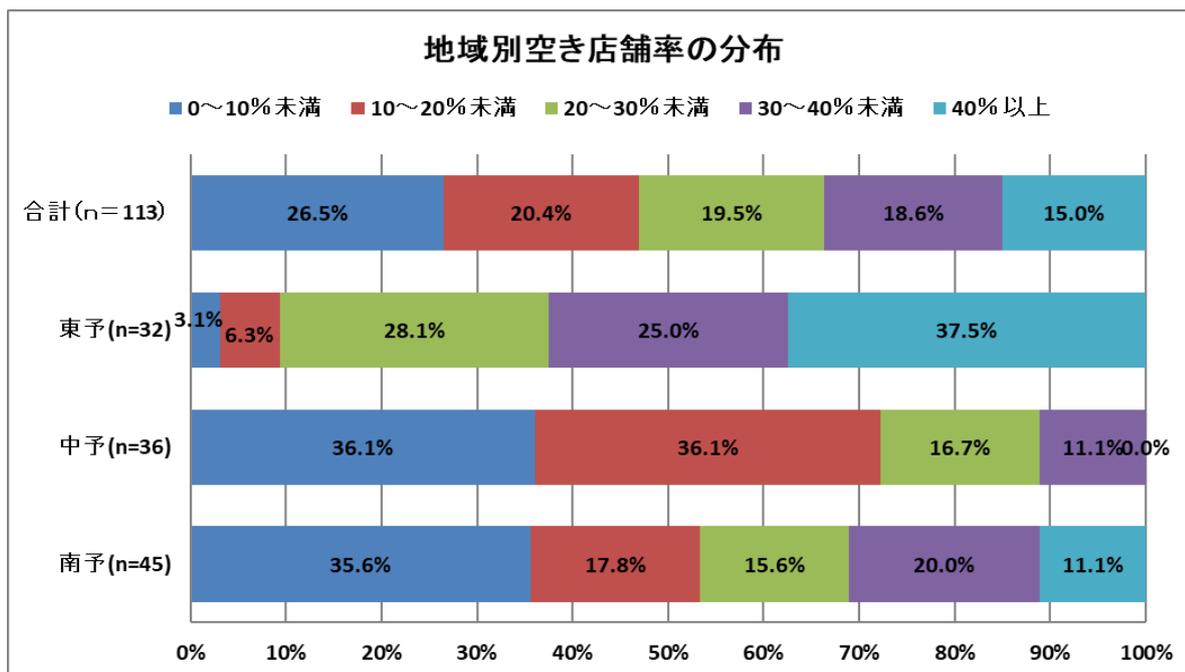
商店街の空き店舗率の分布は、「0～10%未満」が全体の26.5%と最も多く、次いで「10～20%未満」20.4%、「20～30%未満」19.5%、「30～40%未満」18.6%、「40%以上」15.0%の順となっている。

また、前回（令和3年度）調査結果と比較すると、「30～40%未満」が4.8ポイント、「40%以上」が2.9ポイント上昇し、「20～30%未満」が3.8ポイント、「0～10%未満」が2.8ポイント低下している。



空き店舗率	令和5年度	令和3年度
0～10%未満	26.5%	29.3%
10～20%未満	20.4%	21.6%
20～30%未満	19.5%	23.3%
30～40%未満	18.6%	13.8%
40%以上	15.0%	12.1%

地域別の空き店舗率の分布は、東予地域の「20～30%未満」、「30～40%未満」及び「40%以上」の割合が、中予地域、南予地域と比べて高くなっている。
 タイプ別の空き店舗率の分布では、近隣型は「0～10%未満」、地域型は「20～30%未満」の割合が高くなっている。広域型は、「0～10%未満」、「10～20%未満」の割合が同じになっている。

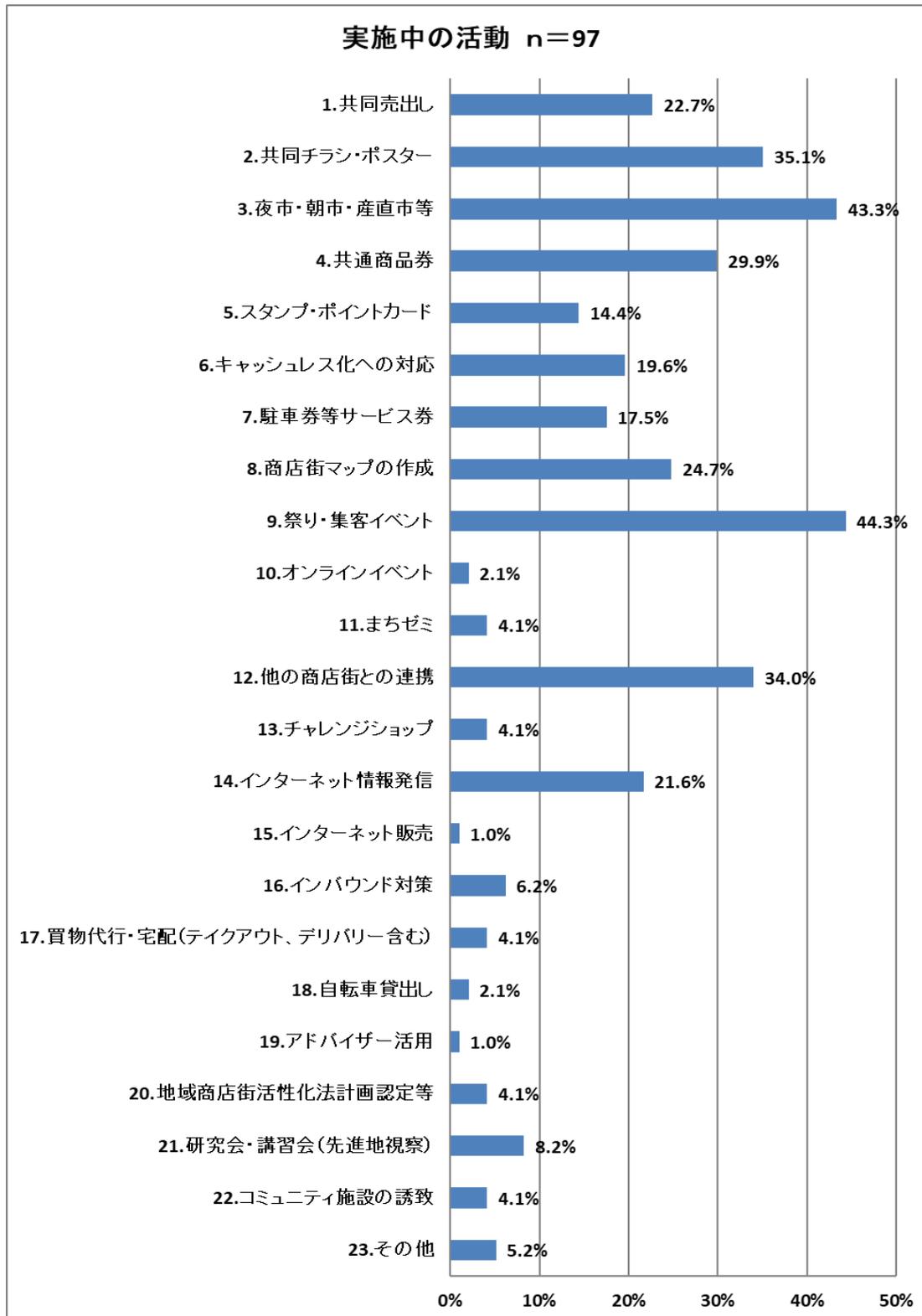


2 共同活動実施状況

1) 現在実施しているもの

商店街の共同活動のうち、現在実施しているものは、主に次のとおりである。

祭り・集客イベント	44.3%	夜市・朝市・産直市等	43.3%
共同チラシ・ポスター	35.1%	他の商店街との連携	34.0%
共通商品券	29.9%	商店街マップの作成	24.7%
共同売出し	22.7%	インターネット情報発信	21.6%



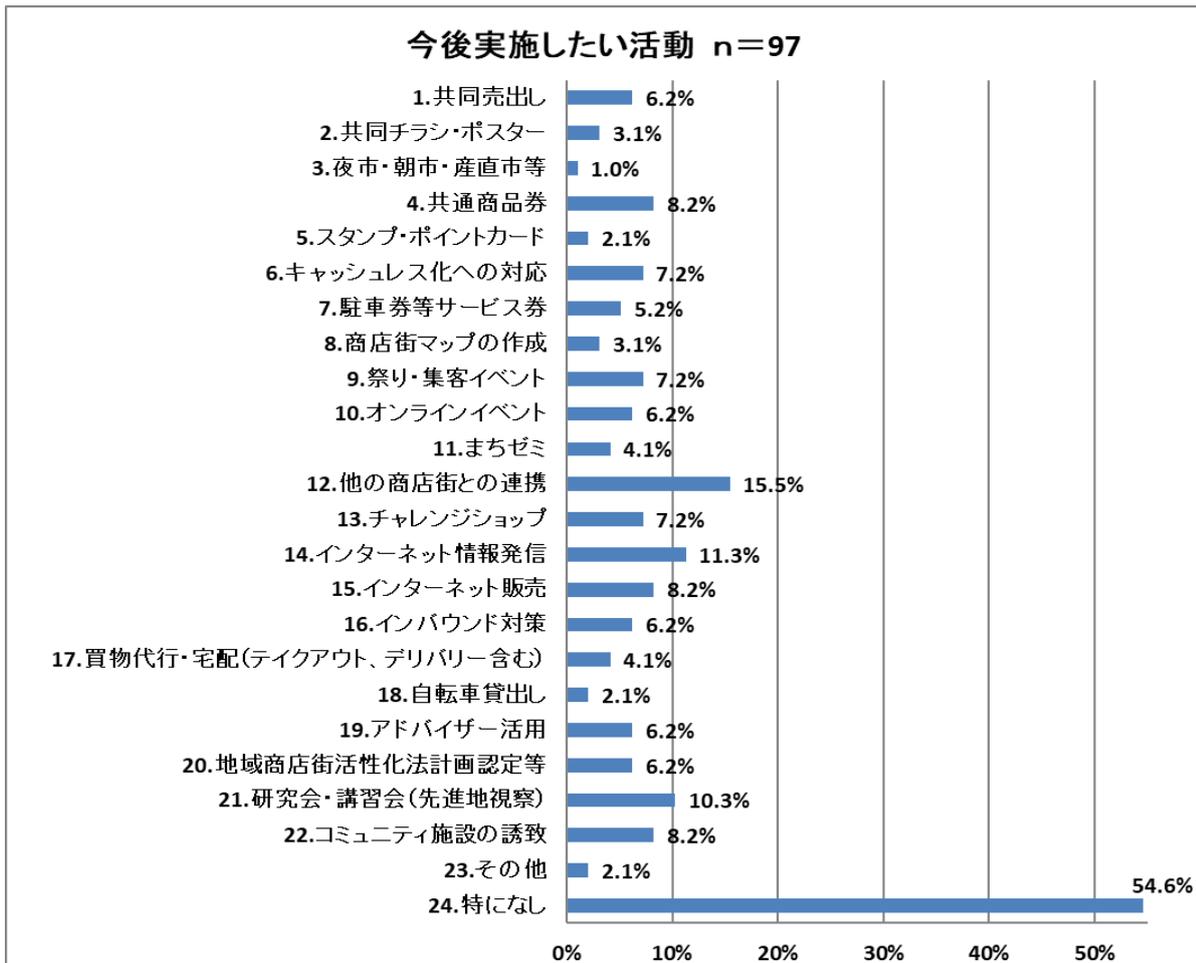
2) 今後新たに実施したいもの

商店街の共同活動のうち、今後新たに実施したいものは、主に次のとおりである。

他の商店街との連携 15.5% インターネット情報発信 11.3%

研究会・講習会（先進地視察） 10.3%

一方で、現在実施しているもの以外に新たに実施したいと考えているものがない商店街が54.6%であった。

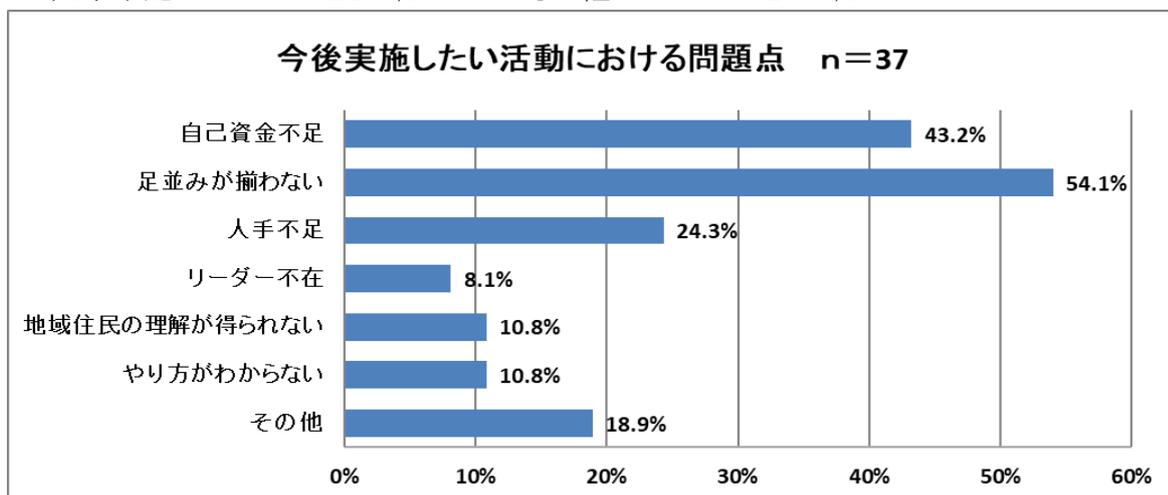


3) 今後実施したい活動における問題点

今後実施したい活動を行うに当たって問題があると答えた商店街は、回答のあった商店街全体の32.7%の37箇所、主な問題点は次のとおりである。

足並みが揃わない 54.1% 自己資金不足 43.2%

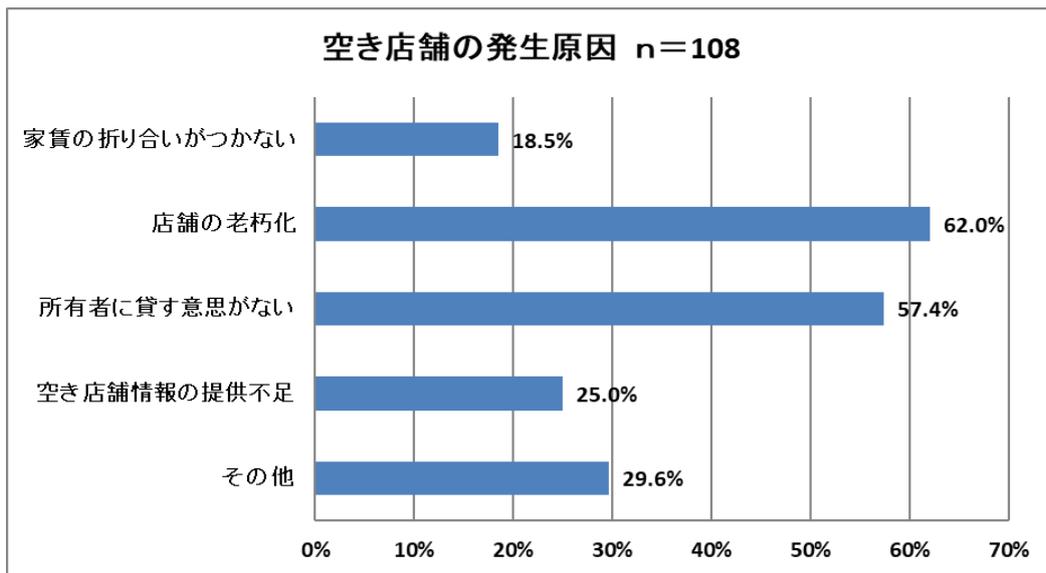
人手不足 24.3% その他 18.9%



3 空き店舗の発生原因

商店街において空き店舗が発生している原因は、主に次のとおりである。

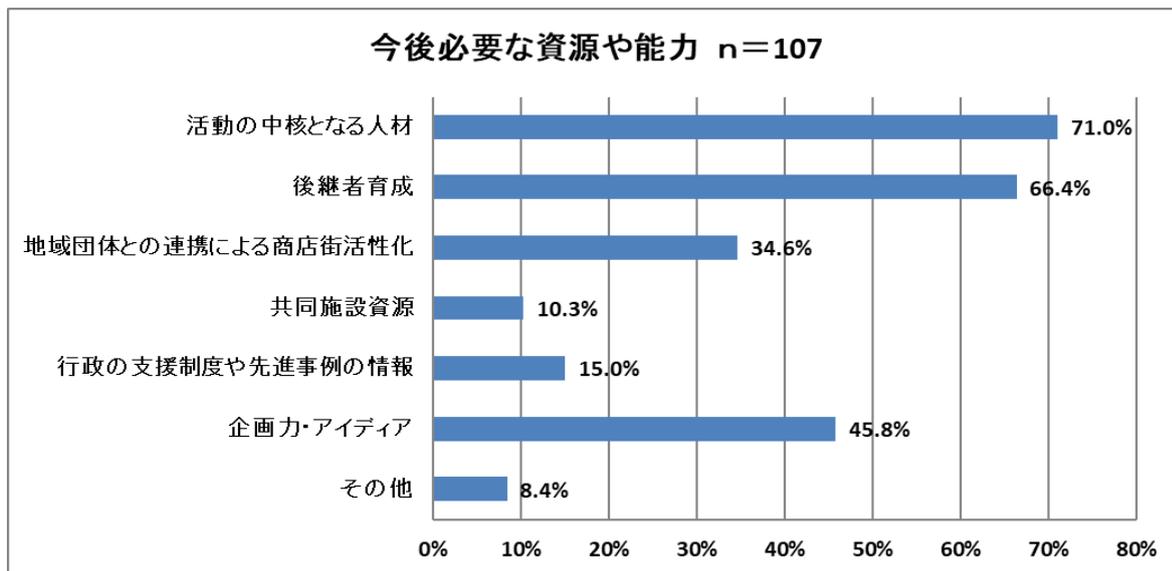
店舗の老朽化	62.0%	所有者に貸す意思がない	57.4%
空き店舗情報の提供不足	25.0%	その他	29.6%



4 今後必要となる資源や能力

商店街の活性化に向け、今後必要となる資源や能力は、主に次のとおりである。

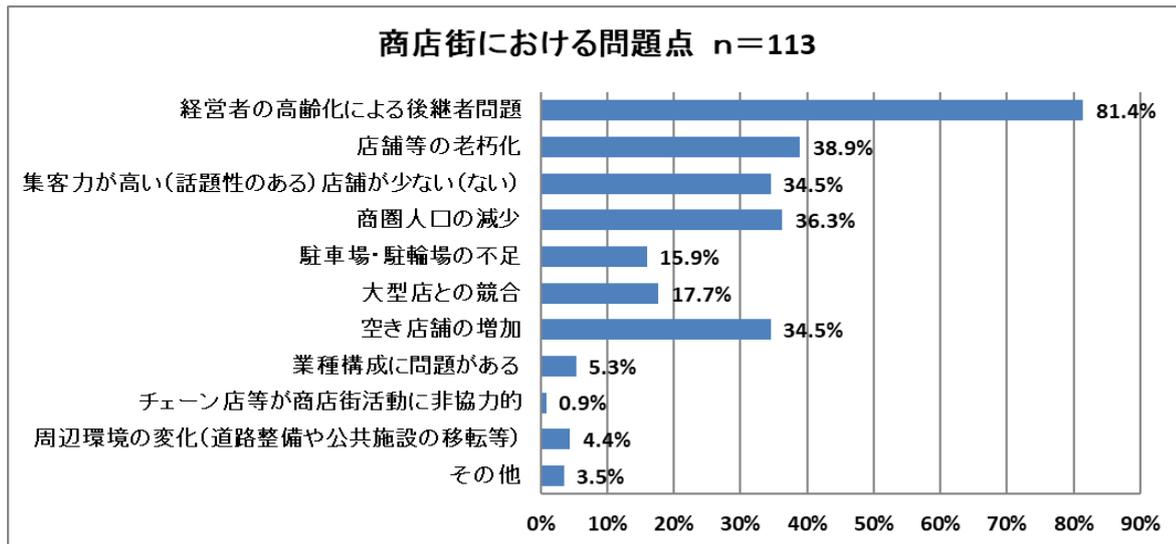
活動の中核となる人材	71.0%	後継者育成	66.4%
企画力・アイデア	45.8%	地域団体との連携による商店街活性化	34.6%



5 商店街における問題点

商店街において問題点とされているものは、主に次のとおりである。

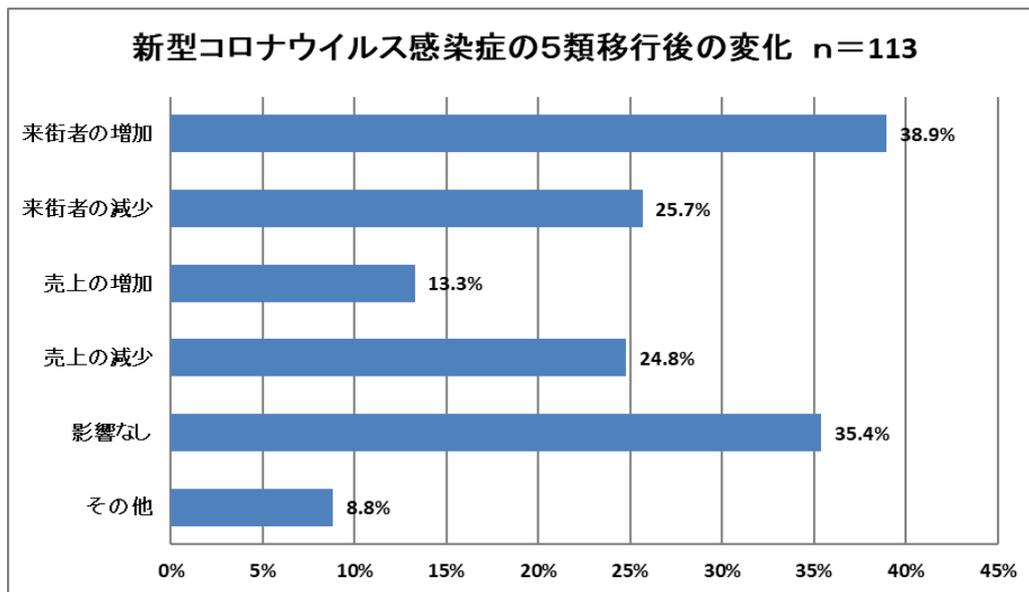
経営者の高齢化による後継者問題	81.4%
店舗等の老朽化	38.9%
店舗等の老朽化	38.9%
商圏人口の減少	36.3%



6 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の変化

商店街における新型コロナウイルス感染症の5類移行後の変化は、主に次のとおりである。

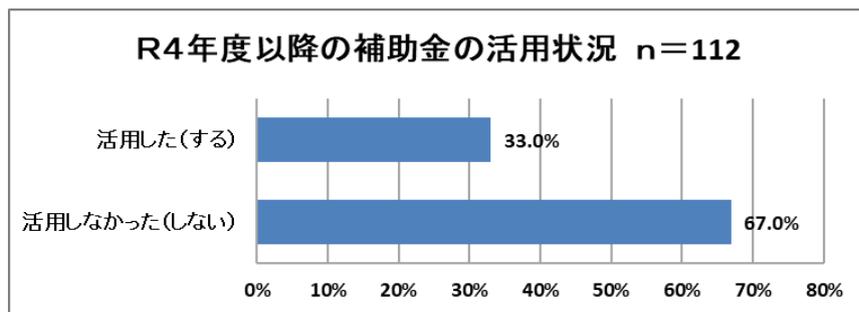
来街者の増加	38.9%
影響なし	35.4%
来街者の減少	25.7%



7 R4年度以降の補助金制度等の活用状況

商店街におけるR4年度以降の補助金制度等の活用状況は、次のとおりである。

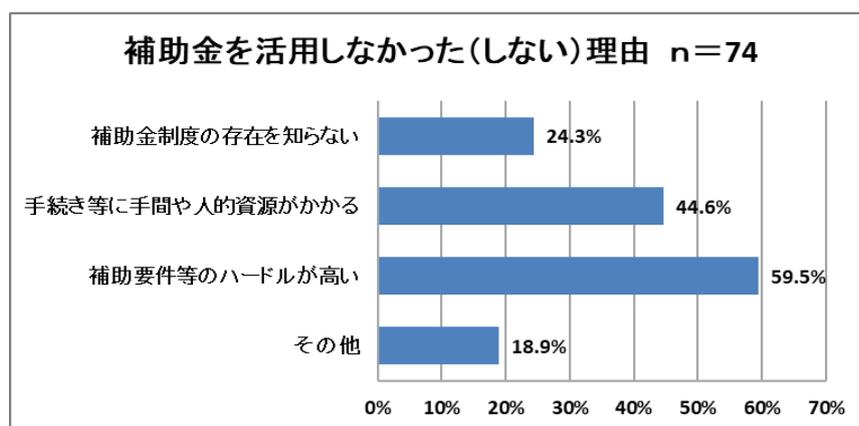
活用した(する)	33.0%
活用しなかった(しない)	67.0%



8 R4年度以降補助金を活用しなかった(しない)理由

R4年度以降、商店街が補助金を活用しなかった(しない)理由は、次のとおりである。

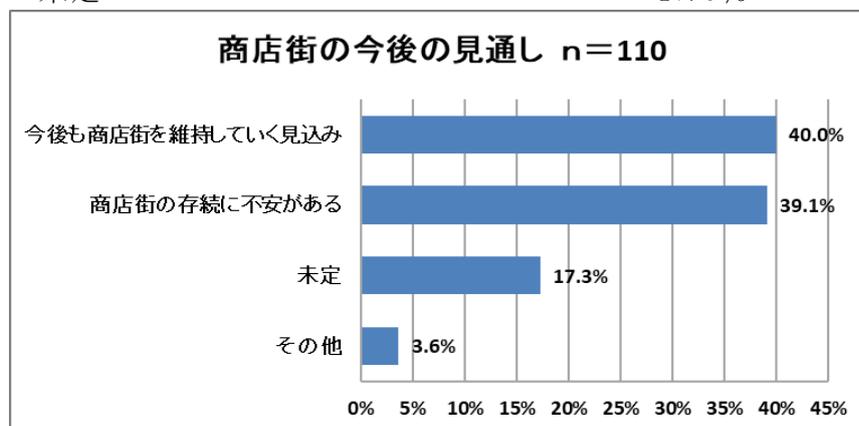
補助要件等のハードルが高い	59.5%
手続き等に手間や人的資源がかかる	44.6%
補助金制度の存在を知らない	24.3%



9 商店街の今後の見通し

商店街の今後の見通しは、次のとおりである。

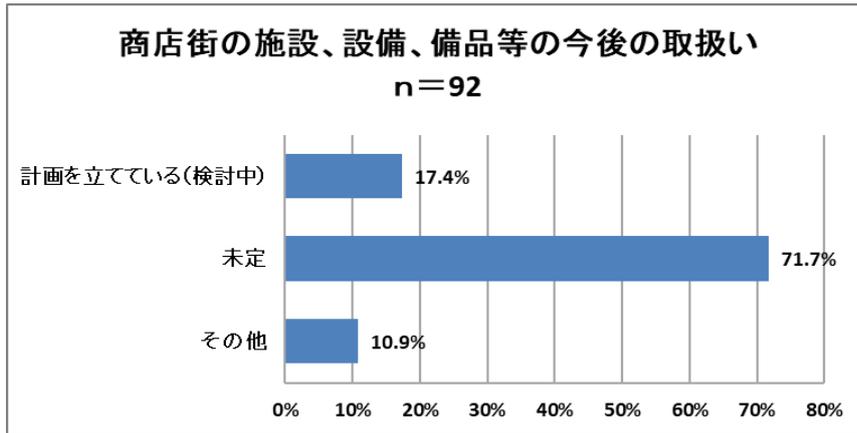
今後も商店街を維持していく見込み	40.0%
商店街の存続に不安がある	39.1%
未定	17.3%



10 商店街の施設、設備、備品等の今後の取扱い

商店街における施設、設備、備品等の今後の取扱いは、次のとおりである。

未定	71.7%
計画を立てている（検討中）	17.4%
その他	10.9%

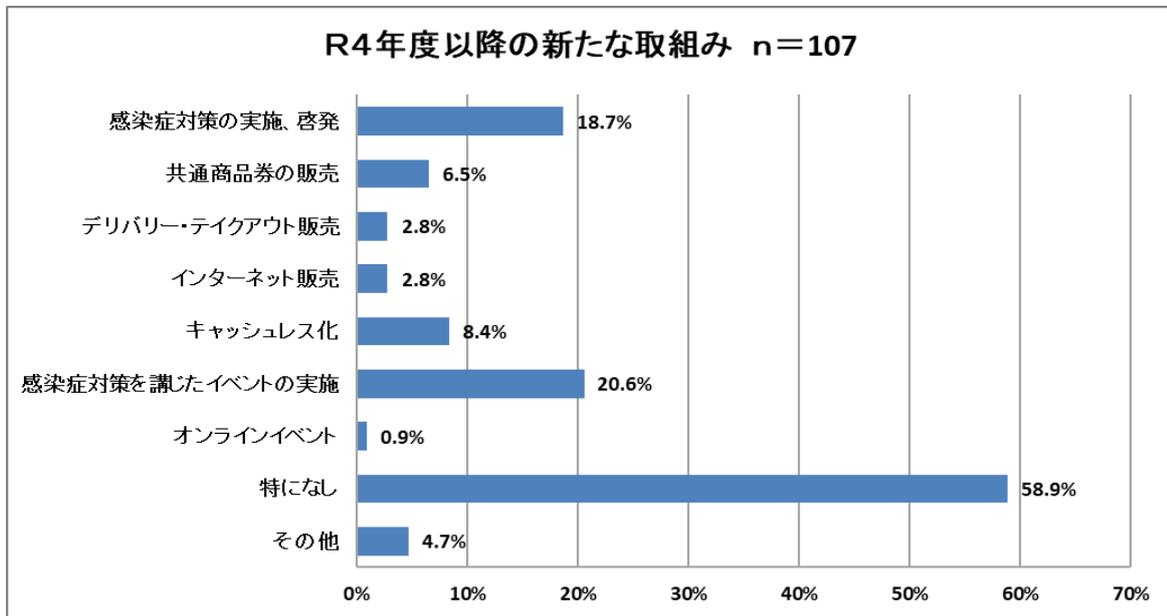


11 R4年度以降の新たな取組み

商店街におけるR4年度以降の新たな取組みは、主に次のとおりである。

感染症対策を講じたイベントの実施	20.6%
感染症対策の実施、啓発	18.7%
キャッシュレス化	8.4%

一方で、R4年度以降実施した新たな取組みが特になし商店街が58.9%であった。



◆過去の調査結果との比較

項目	平成29年度		令和元年度		令和3年度		令和5年度(今回)	
商店街の所在地	東予	30.1%	東予	28.9%	東予	29.3%	東予	28.3%
	中予	30.1%	中予	31.4%	中予	30.2%	中予	31.9%
	南予	39.8%	南予	39.7%	南予	40.5%	南予	39.8%
商店街の属性	(商店街のタイプ)		(商店街のタイプ)		(商店街のタイプ)		(商店街のタイプ)	
	近隣型	56.1%	近隣型	57.9%	近隣型	56.9%	近隣型	57.5%
	地域型	35.0%	地域型	34.7%	地域型	37.1%	地域型	37.2%
	広域型	8.9%	広域型	7.4%	広域型	6.0%	広域型	5.3%
	(組織のタイプ)		(組織のタイプ)		(組織のタイプ)		(組織のタイプ)	
	振興組合	26.0%	振興組合	25.2%	振興組合	24.1%	振興組合	22.1%
	協同組合	3.3%	協同組合	3.3%	協同組合	2.6%	協同組合	2.7%
	任意団体	53.7%	任意団体	54.4%	任意団体	56.9%	任意団体	58.4%
組織なし	17.1%	組織なし	17.1%	組織なし	16.4%	組織なし	16.8%	
空き店舗率	全体	23.5%	全体	23.6%	全体	22.7%	全体	24.7%
	市部	23.4%	市部	23.0%	市部	21.1%	市部	23.3%
	町部	24.1%	町部	26.4%	町部	29.9%	町部	31.0%
	東予	33.4%	東予	34.0%	東予	33.4%	東予	37.7%
	中予	19.0%	中予	19.5%	中予	18.3%	中予	18.0%
	南予	21.7%	南予	21.8%	南予	20.9%	南予	24.3%
(※) 共同活動(上位)	1. 祭り・集客イベント 2. 夜市・朝市・産直市等 3. 共通商品券 4. 共同チラシ・ポスター 5. 共同売出し	1. 祭り・集客イベント 2. 夜市・朝市・産直市等 3. 共同チラシ・ポスター 4. 他の商店街との連携 5. 共通商品券	1. 祭り・集客イベント 2. 夜市・朝市・産直市等 3. 共同チラシ・ポスター 4. 共通商品券 5. 他の商店街との連携	1. 祭り・集客イベント 2. 夜市・朝市・産直市等 3. 共同チラシ・ポスター 4. 共通商品券 5. 共通商品券				

(※) 共同活動は平成29年度、令和元年度及び令和3年度に選択項目を見直した。

令和5年度 商店街実態調査票

【記入者】

所 属	
職 氏 名	
連 絡 先	
メールアドレス	

Q1 商店街の概要及び構成(業種別店舗数、空き店舗数等)について記入してください。

商店街名				
組 織 名				
概 要	起点(交差点名又は店舗名)	起点住所		
	終点(交差点名又は店舗名)	終点住所		
	幅 員(m)	延 長(m)		
	組 織 形 態	商店街タイプ(※)		
代 表 者	氏 名	住 所		
	店 舗 名	連 絡 先		
商店街の構成(店舗数を記入)				
業 種 別 店 舗 数	1 百貨店/スーパー		22 金融/保険(銀行など)	
	2 呉服/服地/寝具		23 不動産/物品賃貸	
	3 男子服/婦人服/子供服		24 宿泊(旅館/ホテルなど)	
	4 靴/履物		25 飲食店(26~28を除く)	
	5 2~4以外の繊維/衣服/身回品		26 酒場・ビヤホール/バー・ナイトクラブ	
	6 各種食料品		27 喫茶店	
	7 野菜/果物		28 持ち帰り・配達飲食サービス	
	8 食肉/卵・鶏肉/鮮魚		29 生活関連サービス、娯楽(理・美容/カラオケ/パチンコなど)	
	9 酒		30 教育、学習支援(学習塾/音楽教室など)	
	10 菓子/パン		31 医療、福祉(病院、マッサージ、介護事業所など)	
	11 コンビニエンスストア(食料品が中心のもの)		32 1~31以外の営業所・事業所	
	12 6~11以外の食料品(牛乳/茶/米穀/乾物など)		営業店舗 計	
	13 自動車/自転車		うちオーナー店	
	14 機械器具(家電/携帯/パソコンなど)		うちテナント店	
	15 家具/建具/畳		空き店舗 (※)	
	16 金物/荒物/陶磁器・ガラス		住宅	
	17 医薬品・化粧品(薬局/ドラッグストアなど)		寺社/集会所/倉庫等	
	18 書籍・文房具		駐車場	
	19 スポーツ用品/玩具/娯楽用品/楽器		公園/休憩所/多目的広場	
	20 写真機/時計・眼鏡・光学機械		無活用の空き地/田畑	
	21 1~20以外の小売業(タバコ/花/宝石など)		その他の状況 計	
街区内総合計				

※ 商店街のタイプは次の3つから選択してください。

- ① 近隣型: 最寄品店中心で地元住民が徒歩又は自転車などにより日常の買物をする商店街
- ② 地域型: 最寄品店及び買回り品店が混在し、近隣型よりもやや広い範囲から徒歩、自転車、バスなどで来街する商店街
- ③ 広域型: 百貨店、量販店を含む大型店があり、最寄品店よりも買回り品店が多い商店街

※ 空き店舗とは、従前店舗であったものが、現状店舗として使用されていない店舗建物とします。

※ 概要及び構成は、令和5年4月1日現在で記入してください。

Q2 貴商店街において、「実施中の活動」及び「今後実施したい活動」について、該当するものに○を記入してください。

なお、「今後実施したい活動」のうち、実施に当たり問題があるものについては、該当する問題点の記号(a~g)を記入してください(「gその他」の場合は、詳細を右欄に記入してください。)

活動内容	実施中の活動	今後実施したい活動(「実施中の活動」を除く。)		
		うち、実施に当たり問題があるもの (問題点を下の選択肢から一つ選択)		問題点が「gその他」の場合、詳細を記入
共同売出し(特売日)				
共同チラシ・ポスター				
夜市・朝市・産直市等				
共通商品券				
スタンプ・ポイントカード				
キャッシュレス化への対応				
駐車券等サービス券				
商店街マップの作成				
祭り・集客イベント				
オンラインイベント				
まちゼミ				
他の商店街との連携				
チャレンジショップ				
インターネット情報発信				
インターネット販売				
インバウンド対策				
買物代行・宅配(テイクアウト、デリバリー含む)				
自転車貸出し				
アドバイザー活用				
地域商店街活性化法計画認定等				
研究会・講習会(先進地視察)				
コミュニティ施設の誘致 (例:子育て、高齢者支援施設など)				
その他 ※[]内に内容を記載 []				

【問題点選択肢】

- | | |
|-----------------|-------------|
| a:自己資金が足りない | b:足並みがそろわない |
| c:人手が足りない | d:リーダーがいない |
| e:地域住民の理解が得られない | f:やり方がわからない |
| g:その他(※詳細を記入) | |

Q3 空き店舗が発生している原因について○をつけてください(複数回答可)。

家賃の折り合いがつかない	
店舗の老朽化	
所有者に貸す意思がない	
空き店舗情報の提供不足	
その他	(その他の詳細を記入してください。)

Q4 商店街の活性化に向け、今後必要となる資源や能力について、3個まで選んで○をつけてください。

活動の中核となる人材	
後継者育成	
地域団体との連携による商店街活性化	
共同施設(案内所、トイレ、休憩所等)資源	
行政の支援制度や先進事例の情報	
企画力・アイデア	
その他	(その他の詳細を記入してください。)

Q5 貴商店街において問題となっているものについて、3個まで選んで○をつけてください。

経営者の高齢化による後継者問題	
店舗等の老朽化	
集客力が高い(話題性のある)店舗が少ない(ない)	
商圈人口の減少	
駐車場・駐輪場の不足	
大型店との競合	
空き店舗の増加	
業種構成に問題がある	
チェーン店等が商店街活動に非協力的	
周辺環境の変化(道路整備や公共施設の移転等)	
その他	(その他の詳細を記入してください。)

Q6 【今回追加】新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行して以来、貴商店街においてどのような影響がありましたか(複数回答可)。

来街者の増加	
来街者の減少	
売上の増加	
売上の減少	
特に影響はない	
その他	(その他の詳細を記入してください。)

Q7 【今回追加】令和4年度以降、国や県、市町などの商店街活性化支援に係る補助金制度等の活用について、該当するものに○をつけてください。

活用した(する)	
活用しなかった(しない)(⇒Q8へ)	

Q8 【今回追加】令和4年度以降、各種補助金を活用しなかった(しない)理由について、該当するものに○をつけてください(複数回答可)。

補助金制度の存在を知らない	
手続き等に手間や人的資源がかかる	
補助要件等のハードルが高い	
その他	(その他の詳細を記入してください。)

Q9 【今回追加】貴商店街の今後の見通しについて、該当するものに○をつけてください。

今後も商店街を維持していく見込み	
商店街の存続に不安がある(⇒Q10へ)	
未定	
その他	(その他の詳細を記入してください。)

Q10 【今回追加】商店街の有する施設、設備、備品等の今後の取扱いについて、該当するものに○をつけてください。

計画を立てている(検討している)	
未定	
その他(設備等の処分について困っていること)	(その他の詳細を記入してください。)

Q11 令和4年度以降、新たに取り組んだものに○をつけてください(複数回答可)。

感染症対策の実施、啓発(ポスター、のぼり等)	
共通商品券の販売	
デリバリー・テイクアウト販売	
インターネット販売	
キャッシュレス化	
感染症対策を講じたイベントの実施	
オンラインイベント	
特になし	
その他	(その他の詳細を記入してください。)

Q12 【今回追加】金額・用途を問わず自由に活用できる予算があった場合に、取り組んでみたいことがあれば記入してください。(自由記述)

Q13 その他商店街における課題、行政への要望や予算化してほしいこと等自由意見をご記入ください。(自由記述)
(貴商店街の今後の取組方針についても何かありましたら併せてご記入ください。)

ご協力ありがとうございました。